

## 第 2 回協議会における主な意見のまとめ

### ◆前のご意見をいただけなかった委員からのご意見

#### <施設の削減について>

- ・ 選択と集中により、どこにポイントを置き、代わりにどこを削ぎ落とすか検討が必要である。

#### <公共施設再生における予算について>

- ・ 公共施設再生については、どれくらいの予算をかけて対策を実施していくか、あるいは国の補助がどのくらい出るのかということ絡めて話を進めていく必要がある。

#### <施設の利用実態について>

- ・ 市民アンケートの結果を見ると、公共施設全体で利用者が偏っていることが課題である。
- ・ 生活形態の変化により公共施設の用途が現状と合わなくなっている。

#### <施設の収益について>

- ・ 民間目線で収益性が上がるような取組みも検討することが重要である。

### (1) 公共施設の課題の整理等について

#### <分析の視点について>

- ・ 四象限で公共施設の課題を考える場合は、比較対象とする施設分類間で単位が合わないと、適正な比較分析はできないのではないかと。
- ・ 施設は収容量や必要なスペースが様々なので、一概に単位面積当たりでの比較はできないのではないかと。
- ・ 公共施設全体として異なる性質の施設を比較する場合は、標準偏差が大きくなるため、外れ値となる施設分類を除いた母数で算定した平均値や中央値を用いるなども考慮して整理することも考えられる。
- ・ 公共施設は街の核となるため、地域ごとに分けて分析を行うことも考えられる。
- ・ 分析では、フルコストに占める維持管理費の割合で分析する、施設の特性に応じて比較対象や指標を分けるなど様々なやり方が考えられるため、分析方法はこれだけではないと説明することが大事である。
- ・ 学校のように必要な施設や市庁舎のように災害時に災害本部や避難所になる施設は分けて考えてみてはどうか。
- ・ 市民アンケートの結果についても、基本方針の中に取り入れていく必要がある。

#### <利用者数の把握について>

- ・ 利用者数が把握できていない施設については、何らかの方法で利用人数を把握し統計を取った方がよい。

## (2) 先進市事例等について

### <事業に係る予算について>

- ・ 先進市事例の事業実施に係る予算が把握できれば、モデル事業を検討する際の参考になる。

### <総量削減について>

- ・ 秦野市では、最初に公共施設再配置計画の中で総量削減を公約した上で、物理的にハコが無くなるのがサービスの低下に繋がるわけではないという考え方でプロジェクトを実施している。総量削減を方針に掲げるかどうか政策的判断が必要である。

### <モデル事業の抽出方法について>

- ・ 民間補助事業、家賃補助、オーナーへの改装補助など、様々な政策メニューを組み合わせ、施設（ハコ）ありきでないサービスの提供を考えていくことも重要である。
- ・ 震災時のベンチコンロやマンホールトイレなど、建築の視点からの多機能化を前提とした施設再生の考え方もある。
- ・ 近年では、公共施設の空中権を隣地に売ることによって維持管理費を捻出している事例もある。多様なアイデアを収集し、検討材料として、施設再生計画へ反映していく必要がある。

### <民間活用について>

- ・ JR のエキナカビジネスのように、公共施設の中のビジネスを検討することも考えられる。
- ・ 民間施設との複合化は、ショッピングモールのように流行廃りがあることに留意すべき。
- ・ 民間は利益が出ない事業には手を出さない。
- ・ 設備投資計画に大きく関わってくるため、基本方針や基本計画の中でも、民間事業者を含めて議論を進めていくことも考えられる。
- ・ 民間活用を行う場合は、施設の効率性の面ではコスト削減効果が小さいかもしれないが、街中のにぎわい創出事業として捉えると良い場合もある。

### <公共施設の再配置について>

- ・ 公共施設を集約することについては、都市経営の視点から街中を回遊して頂けるよう、立地条件や利便性を再度見直すことも大事である。
- ・ 東村山市は所沢市と隣接しており、圏域的に都県を越えた施設の共同利用も考えられるため、GIS やトリップ調査を使って、圏域設定を行っていくことも検討材料として有効である。

### <東村山市の特性や今後のまちづくりの方向性について>

- ・ 施設再生を検討するにあたって、人口動向や地域特性など市の特徴を理解する必要がある。
- ・ 今後の東村山市のあり方や街づくりの目標を掲げて、その目標に向かって各施設をどのように整備をしていくかということを考えていく必要がある。
- ・ 東村山市には鉄道駅が多いという特徴があるため、鉄道事業者との連携ということについても、他の自治体より重要になる。

### <市民参画や情報公開について>

- ・ 市民との議論の場を持ち、市民としての責任や、公共施設をどのような形で具現化することを望むのかということを書いていく必要があるのではないか。
- ・ 市民を巻き込む場合には、方法論を考えなければいけない。
- ・ 個別施設の検討となると総論賛成、各論反対となるため、情報をできる限りオープンにして、市民同士で議論ができるような材料を提供していく必要がある。
- ・ 市民ワークショップやワールドカフェなど意見交換する場を設けて、その中から少しずつ緩やかなコンセンサス（意見の一致）を得る方法もある。
- ・ 東村山市に今後も住み続けてもらえる魅力ある街としていくために、なるべく若い人の意見が反映されると良い。